

- |  |    |
|--|----|
| 1. PERSON B.C. 4世紀、ギリシアの哲学者でプラトンの弟子。師を批判した現実主義哲学。                      | 1  |
| 2. 物事を考察するに際して、理想よりも現実を重視する立場。<br>関連語：理想主義                             | 2  |
| 3. ただ一つの根本原理によって、世界や事象を説明する立場。アリストテレスの哲学は「一元論的な二元論（形相と質料）」ともいえるので注意。   | 3  |
| 4. 個物に内在する本質。関連語：質料（ヒュレー）  | 4  |
| 5. 個物の素材。関連語：形相（エイドス）  | 5  |
| 6. アリストテレスが説いた究極の幸福。よく生きることにより、現実態を限りなく形相（本質的に生きる）に近づけること。             | 6  |
| 7. WORD 人間の本質的な生き方の一つは、ポリス（市民共同体）のメンバーとして生きること。様々な分業。チーム意識。責任と自覚。      | 7  |
| 8. 理性の力で養う。 ex. 観想（テオリア）、学問、知性、知恵（ソフィア）、思慮、技術。関連語：倫理的徳（習性的徳・性格的徳）      | 8  |
| 9. 訓練（→中庸を選ぶ習慣を身につける）で養う。エトス（習慣）をエートス（性格）にする。 ex. 勇気、節制、正義、友愛。関連語：知性的徳 | 9  |
| 10. 訓練によって養う倫理的（習性的・性格的）徳が、不足や過度の両極端を避けること。 ex. 勇気（不足の臆病と過度のむこうみずの中庸）  | 10 |
| 11. 倫理的徳の一つで、よく生きる（人柄や徳）ポリス市民としての同志愛。<br>関連語：エロース、アガペー、慈悲、仁            | 11 |
| 12. 社会全体の秩序や幸福を保障する正義。関連語：部分的正義  | 12 |
| 13. 社会のメンバー間の公平性を保障する正義。関連語：全体的正義                                      | 13 |
| 14. 個人差（ハンディキャップ・業績など）を考慮しない部分的正義。 ex. 裁判                              | 14 |
| 15. 個人差（ハンディキャップ・業績など）に応じる部分的正義。 ex. 地位・報酬                             | 15 |

T. Q. 「アリストテレスの一元論哲学の内容とは？」

T. A.

師プラトンに対してアリストテレスは、「アイデアは個物に内在する」とした。彼はアイデアをエイドス（形相）、個物の素材をヒュレー（質料）と呼び、現実存在する個物は、この両者が結びついたものであるとした。また、完成体を現実態（エイドスにあたる）、未完体を可能態（ヒュレーにあたる）と呼んだ。